

報道各位

新潟市農業活性化研究センター

～ 農業分野では自治体による全国初のプロジェクト運営！ ～
J-クレジット制度におけるプロジェクト承認・登録に伴う
記者ブリーフィングを行います

新潟市では、環境に配慮した持続可能な農業を推進するとともに、農業や企業の環境保全活動の活性化を図るため、水田から排出される温室効果ガスであるメタンガス削減を目指す「新潟市みどりの農業推進プロジェクト」を立ち上げ、新潟市J-クレジット普及推進協議会（事務局 新潟市農業活性化研究センター）を中心に取り組みを進めてきました。

今般、本プロジェクトが、温室効果ガスの排出削減量・吸収量を国が認める「J-クレジット制度」に承認・登録されましたのでお知らせします。

農業分野の方法論に取り組むプロジェクトの運営・管理者を、自治体が担うのは全国で初めてであり、この度の承認・登録を受けて、R7年度から水稻栽培における中干し期間の延長に着手し、水田からのメタンガス削減及びクレジットの創出・販売を目指します。つきましては、下記により会見を行いますのでご出席くださいますようお願いいたします。

※新潟市J-クレジット普及推進協議会とは

温室効果ガス排出量削減の方法論「水稻栽培における中干し期間の延長」により、水田から排出されるメタンガス削減に官民連携で取り組むため、農業者、農業団体、金融機関、新潟市等で構成する「新潟市J-クレジット普及推進協議会」を令和6年3月27日に設立。

【開催概要】

○案件

J-クレジット制度におけるプロジェクト承認・登録について

○日時

令和6年11月28日（木）10:00～10:30

○会場

新潟市農業活性化研究センター 研修室
（新潟市南区東笠巻新田 3043 番地 1）

○出席者

【新潟市】 三阪 史也 農林水産部長

○その他

当日ご出席いただける場合は、別紙「記者ブリーフィング 出席申込書」に必要事項をご記入いただき、11月27日（水）正午までに下記連絡先へFAXでお申込みください。

※水稻中干し（なかぼし）とは

- ・水稻の栽培期間中、水田の水を落とし土壌を乾かす作業のことで、稲の過剰生育の抑制や根の活力維持などに効果があります。
- ・国の試験研究では、中干し期間を延長することで、温室効果ガスの一つであるメタンの発生量を3割削減する効果が実証されています。



【問い合わせ先】

新潟市農林水産部 農業活性化研究センター（担当：小出、高橋（良））

電話：025-362-0151（直通） F A X：025-362-0153

別 紙

J-クレジット制度におけるプロジェクト承認・登録に伴う
記者ブリーフィング 出席申込書

取材を希望される方は、以下にご記入のうえ、11月27日（水）正午までにFAXにてお申込みください。

(送信先) FAX番号：025-362-0153 農業活性化研究センター 宛

貴社名		所属	
役職／氏名			
同行人数	人	カメラ有無	スチールカメラ 台 ムービーカメラ 台
TEL 番号 (中止時の連絡用)		FAX 番号	

(お問い合わせ) 新潟市農林水産部農業活性化研究センター TEL : 025-362-0151